

「北海道内における水素ステーションの現状について」

～ 道内3カ所目となる新たなステーションのご紹介 ～

2022年7月28日

エア・ウォーター株式会社
北海道地域連携室
近田 佳介



1. しかおい水素ファーム ステーションのご紹介

地球の恵みを、社会の恵みに。



しかおい水素ファーム



「しかおい水素ファーム」は、国内有数の家畜ふん尿処理施設である鹿追町環境保全センターにて生産されたバイオガスから水素を製造する、日本初の取組を実施します。

2015年より環境省「家畜ふん尿由来水素を活用した水素サプライチェーン実証事業」を実施し、2022年に事業化しました。

環境にやさしい水素サプライ事業を軸とした事業の深度化を図りながら、ゼロカーボンの町づくりを推進します。

鹿追町

しかおい水素ファーム 〒081-0216 北海道河東郡鹿追町北4線5番地(鹿追町環境保全センター内)

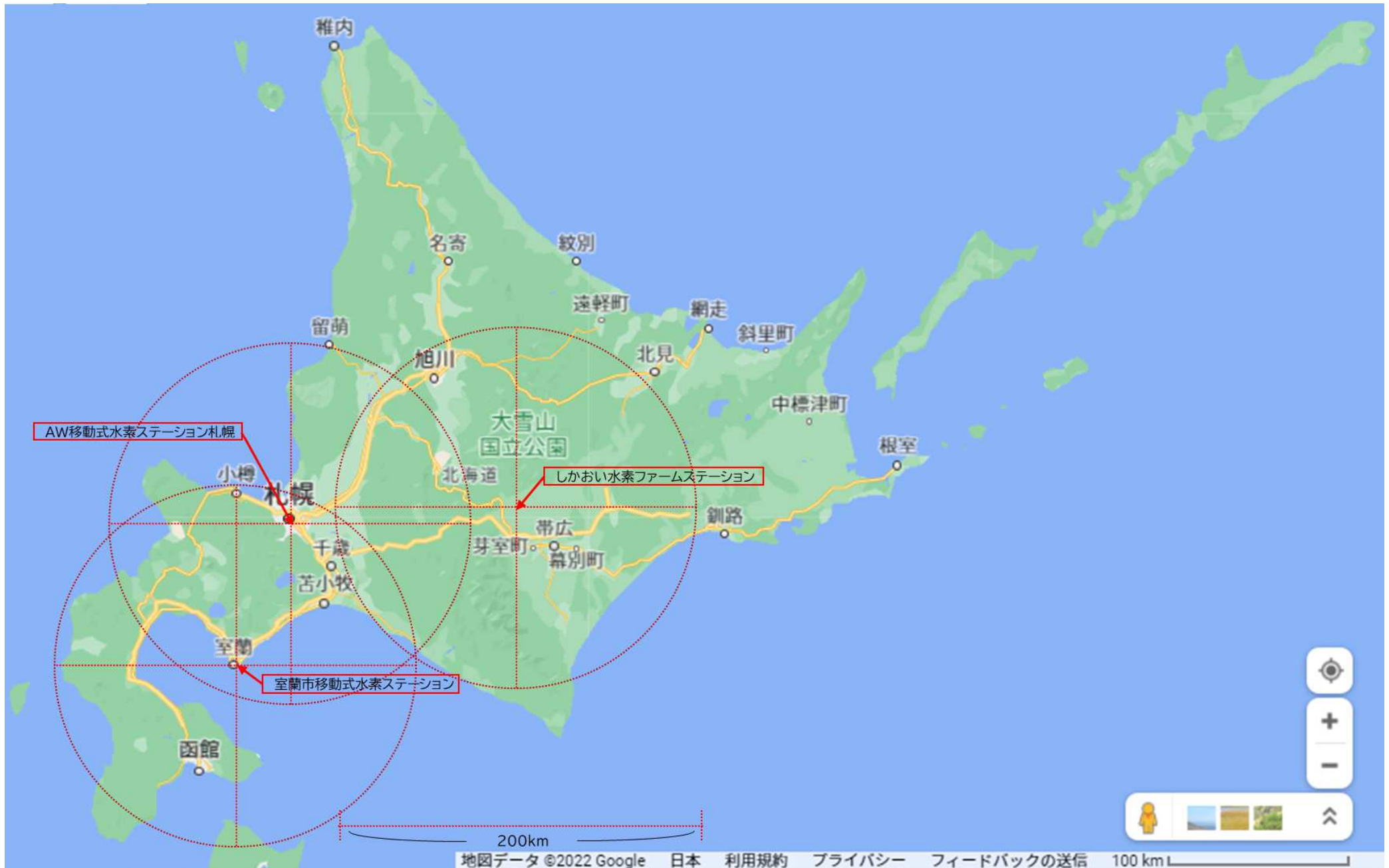
しかおい水素ファーム 事業概要

事業内容	家畜ふん尿由来バイオガスによる水素の製造及び販売事業		
事業開始	2022年4月		
事業者	鹿追町		
運営事業者	株式会社しかおい水素ファーム(出資 エア・ウォーター北海道、鹿島)		
所在地	北海道河東郡鹿追町鹿追北4線5番地(鹿追町環境保全センター内)		
設備概要	水素製造設備	能力	約70Nm ³ /h
	水素出荷設備	圧力	19.6MPa
	水素ステーション	圧力	70MPa燃料電池自動車用 35MPa燃料電池フォークリフト用

(出展：しかおい水素ファーム パンフレットより抜粋)

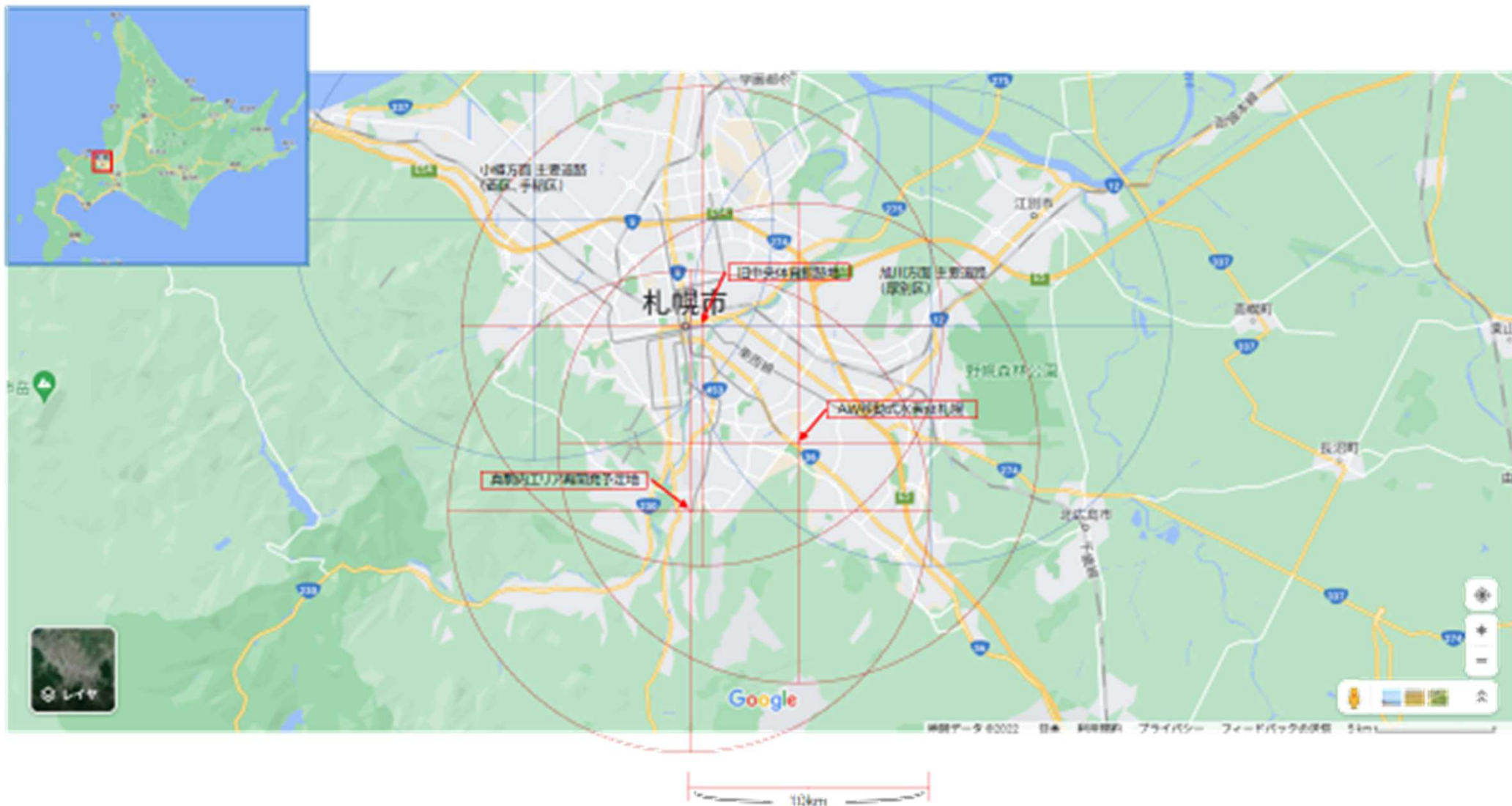
2. 北海道内 商用水素ステーション 配置 (200km圏)

地球の恵みを、社会の恵みに。



3. 札幌市内における水素ステーションの配置検討

地球の恵みを、社会の営みに。



「札幌市燃料電池自動車普及計画（平成29年3月 札幌市様 策定）」を基に、札幌市内における水素ステーション配置検討案を図示。

4. 既存 移動式水素ステーションの現状

地球の恵みを、社会の恵みに。



[札幌市] エア・ウォーター移動式水素ステーション札幌

- ・ 2018年3月札幌市豊平区（AW所有地）道内初の商用水素ステーションとして開設。
- ・ 所有者・運営管理者：エア・ウォーター(株)
- ・ 設備補助金：国148百万円,道・札幌：各26百万円
- ・ 現在：Nev活動補助金を活用し運営中



[室蘭市] 室蘭市移動式水素ステーション

- ・ 2016年3月に北海道初の水素ステーションとして開所。（室蘭市が環境省基金を活用して実施）
- ・ 2020年4月より、道内2箇所目の商用水素ステーションとして稼働中。
- ・ 所有者：室蘭市
- ・ 運営管理者：エア・ウォーター(株)
- ・ 現在：Nev活動補助金を活用し運営中



地球の恵みを、社会の望みに。



ご清聴ありがとうございました